

平成26年度 活動方針

- ①リクルート活動への参加・九州地方整備局のPR活動
- ②「働きやすい職場環境、家庭・子育てとキャリアの両立を目指せる職場の環境づくり」についての意見集約
- ③他機関及び企業等との連携（ネットワークづくり）
- ④既作成の提言書の更なる活用

(1)企画課リクルート活動の一環として実施している各大学への事業・就職説明への参加

日時	学校名	所属
H26.4.7	熊本大学	筑後川河川事務所
H26.4.16	鹿児島大学	鹿児島港湾・空港整備事務所
H26.6.3	大分工業高等専門学校	大分川ダム工事事務所
H26.6.26	長崎大学	雲仙復興事務所
H26.6.27	佐賀大学	筑後川河川事務所
H26.6.27	福岡大学	河川部河川管理課



熊本大学



鹿児島大学



福岡大学

(2)女子学生向けのリクルートパンフレット(チラシ)の作成

- 『九WE会リクルートパンフレット作成に関するWG』や意見照会の結果を踏まえて、女子学生向けのリクルートパンフレット(チラシ)を作成。
- 作成したリクルートパンフレットは、今年度の採用活動(官庁訪問や業務説明会等)で使用。

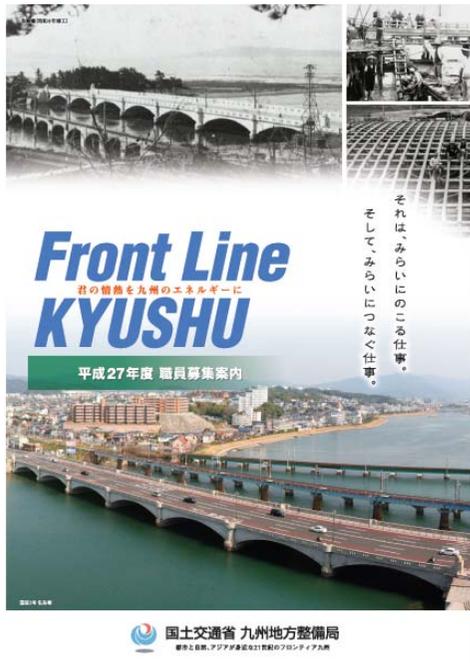


九WE会リクルートパンフレット
作成に関するWG
日時：平成26年6月16日(月)
場所：福岡第二合同庁舎
対象者：九WE会メンバー
福岡ブロック
佐賀ブロック



(3)リクルートパンフレットの全面リニューアルに関するアドバイスや記事等への協力

○リクルートパンフレットの全面リニューアルにあたり、ブロック会議で企画案等に関するアドバイスや仕事紹介への記事等への協力



平成27年度
職員募集案内

世代を超えて社会を支える道づくり

私は、鹿児島自動車道の施工現場における工事監督の業務を行っています。現場では設計どおりに工事が進まないことも多く、施工業者や設計コンサルタントなどの関係者から意見を聞き、上司と相談しながら業務を進めています。新しい技術に遭遇する時もありますが、毎日で考え解決していくプロセスは、チームで仕事をやる面白さや達成感、また自分自身の技術力の上昇につながっていると感じています。

平成26年12月に、鹿児島県道「七」宮野釜五郎工区が竣工しました。子供を連れて観望した道端を走行した時、「ママの位置でみんな通かっているね」と言われ涙が溢れました。この道は、これから世代を超えて社会を支えていくと思うと、その仕事の一部を担っていることに改めて誇りと誇りを感ずっています。



100年後もそこにあり続けるもの

私は、大分川ダムに設置する湧眼などの設計、工事の発注・現場監督を行っています。設計から工事まで関わっているため、自然環境に配慮した設計にしたり、思い入れのある風景が印象になっていく現場に立ち会うことが多く、覚悟した時にはとても緊張感があります。

大層が壊れても無傷な子供遊具を採水から守れるように、水質の出口をひらけば水はブルーと出る。そんな自然の偉業が「当たり前」であるように、私達の仕事は、「くらしを守る」仕事です。100年後も地域に喜ばれるものを、子供達に残してあげたいと思っています。



苦労すればするほど大きな感動がある

私は、遠賀川の河川整備における計画・調査設計、標準に合うと遠賀川流域で次にどこも工事すべきが検討・計画は実施し設計する仕事に取り組んでいます。「これから発生するかもしれない大洪水」に対して危険なところはどこか？整備の優先度は？整備方法は？地域の方向性がどう変わるかなどは？対象地に伝達する動物の意識は？このような事を日々考えしています。

治水面での安全性を確保するという大前提のもと、地域の方向や標準、維持管理性にも配慮し、総合的に事業を計画・設計することが求められるので、関与が難しい場面も多々ありますが、自分が関わった事業が実際に施工されているのを目の当たりにした時、苦労が多かったもののほど大きな感動が得られます。「人々の安全・安心の礎を築く」責任は重大ですが非常に大きなやりがいを感じられる仕事です。いつの日か皆様と共に行ける日を楽しみにしています。



将来に残せる「ものづくり」ができる。やりがいのある楽しい職場です。

職場として九州地方整備局を選んでいただくのはなぜですか？
インターンシップで出会った課長が職員の方から、様々な話を聞くなかでマスターが小さく大変興味深かったです。自分の名前が呼ばれなくても、物が落ちるとすぐスケールの大きい仕事に携わることができるので、それが嬉しかったです。



職場の雰囲気はどうですか？
公務員らしく、デスクで黙々と働いているイメージがなかった。しかし、実際に働いてみると皆が仲が良く、和気あいあいとした楽しい職場でした。転勤は九州全体ですが、行った先で知り合いが増え、また以前からの事務所でも一緒に働いた方とは今でも交流があるなど多くの出会いがあり楽しいことも多いです。仕事の相手をしても、優しく教えてくれて、優しい方が多いです。



九州を育む 九WE会(九州女性技術者の会)

WEは 私達みんなが力を合わせて築き上げる ExJoy With(一緒に楽しむために)

筑後川河川事務所 片ノ瀬出張所長 原田 佐良子



九WE会は、事務局の女性技術者により構成され、「九州地方整備局の魅力向上」や「いきいきと働くことができる職場づくり」などを目標に活動しています。会議やモーニングブリストの活用による職員同士の情報交換、視察旅行を目指す女性へのサポート、女性の視点や経験を活かした提案など様々な活動に取り組んでおり、また、建設業界全体の魅力アップを目指し、交流の輪を広げるため他機関や企業との意見交換にも積極的に取り組んでいます。未来の九州を守り育てる、同じの思いを持った仲間、多く女性を応援しています。是非、一緒にがんばりましょう。



(3)内定者の職場訪問会、学会や大学主催の説明会への職員派遣

【平成27年度採用職員内定者職場訪問会】

内定者の職場訪問会に九WE会メンバーを派遣し、
座談会を通じて、内定者の不安や心配を解消

日時：平成26年12月5日（金）

場所：筑後川河川事務所



内定者との意見交換

【就職懇談会（佐賀大学）】

大学主催の就職懇談会にOGとして九WE会メンバー
を派遣

日時：平成26年12月10日（水）

場所：佐賀大学



【インターンシップ講習会】

熊本大学主催の学部3年生を対象
とした講習会に九WE会メンバー
を派遣

日時：平成26年5月16日（金）

場所：熊本大学



【平成26年度地盤工学会九州支部講習会】

大学生のための地盤工学セミナー

～未来の社会を支えるエンジニア～

地盤工学主催のセミナーに九WE会メンバーを派遣し、
参加した学生に対して女性が建設業で働く魅力をPR。

日時：平成26年12月6日（土）

場所：福岡大学

九WE会 平成26年度の活動状況の報告について

～②「働きやすい職場環境、家庭・子育てとキャリアの両立を目指せる職場の環境づくり」についての意見集約～

九WE会の全体会議及びブロック会議において、「働きやすい職場環境、家庭・子育てとキャリアの両立を目指せる職場の環境づくり」についての意見集約を実施。

九WE会 全体会議の意見交換の実施

九WE会 全体会議

日時：平成26年5月30日（金）

場所：福岡第二合同庁舎



九WE会 ブロック会議の意見交換の実施

北部ブロック会議

日時：平成27年2月18日（水）

場所：東福第二ビル

南部ブロック会議

日時：平成27年2月19日（木）

場所：鹿児島国道事務所



九WE会 平成26年度の活動状況の報告について

～②「働きやすい職場環境、家庭・子育てとキャリアの両立を目指せる職場の環境づくり」についての意見集約～

九WE会 全体会議及びブロック会議にて意見交換の実施

九WE会の全体会議及びブロック会議において、「働きやすい職場環境、家庭・子育てとキャリアの両立を目指せる職場の環境づくり」についての意見集約を実施。

全体会議での主な意見

- 男性職員も、自宅研修として育児休暇を取得。1週間でも良い。レポートも提出。
(育児の“楽しさ”や“大変さ”などを理解することができる。)
- 個人のライフステージに対応したキャリアアップを目指せる環境づくりが重要。そのうえで、トータル（新採～定年）として管理職拡大を目指した方がよい。
- 時間短縮制度をもっと活用できるようにしてもらいたい。制度を使用しても超勤せざる得ない現状。
業務量のバランス考慮が必要。
- 時間短縮制度はあるけど使いづらい。活用するには勤務時間のシフトを柔軟に変えられるとよい。
- 周囲の人の時間短縮制度等に関する認知度が低い。職場のコミュニケーションも大切。（信頼関係を構築）
- 出産後、コミュニケーションを取って、ON・OFFがはっきりできる状況をつくる。
(夕方に現場を入れない、午前中に会議を入れる等のルールを徹底する職場づくり。)
- トイレの数が少なく、古いなど環境を改善する。
- 若手が先輩職員と話しや相談しづらい状況。聞きやすい場所があるとよい。（例えば、喫煙室のような役割） 等

ブロック会議での主な意見

- お母さん達の影響はとても大きい。土木は3Kなど悪いイメージも未だある。お母さんをターゲットとした、土木の良いところを聞いて感じてもらう。その際は女性が出て行って説明した方がよい。
- 女性の私達が働き続けていることを見せることが重要。
- 水生生物調査の出前講座の時に、単に水生生物調査の話をするだけでなく、仕事内容や防災等の+aも入れる。
- ASP（受発注者情報共有システム）を活用して、自宅でも仕事できる環境づくりを推進してもらいたい。
(自宅でする簡易な決裁などはサイボーズにより自宅ですしている。)
- 時間短縮制度はあるけど使いづらい。活用するには勤務時間のシフトを柔軟に変えられるとよい。

九WE会 平成26年度の活動状況の報告について ～③他機関及び企業等との連携(ネットワークづくり)～

①建設業に携わる女性技術者による意見交換会

九州地方整備局と建設会社の女性技術者による『もっと女性が輝く建設業』とするため、“女性が働きやすい職場づくり”や“女性技術者の確保”等についての意見交換を開催。

日時：平成26年7月2日(水)
場所：福岡市第5博多偕成ビル
参加者：九州地方整備局 7名
建設企業 6名



建設企業の女性技術者
との意見交換会

②地盤工学会の特別セッションへの参加

地盤工学会のダイバーシティ実現に向けた取り組みとして開催された特別セッションの討議にも参加。

日時：平成26年7月15日(火)
場所：北九州市
国際会議場



③建設業に携わる女性技術者による意見交換会

- 土木行政が携わる国・福岡県の女性技術者が、お互いの職場における良い点、改善点や魅力ある土木行政に向けたアイデアなどを意見交換することにより、『いきいきと働き続けることができる職場環境づくり』や『新たな土木の魅力発見・発信』に向けての取組を実施。
- 交流の輪を通じた、土木行政における女性技術者の担い手育成。

日時：平成27年2月24日(火)
場所：本局2F会議室
参加者：九州地方整備局 6名
福岡県 6名

